

# シラバス詳細

タイトル「2025年度シラバス」、カテゴリ「(共通)」

## 科目情報

< 2 / 12件 >

### 科目名

日本事情IV

### 講義名

日本事情IV

### クラス

### 担当教員

永島 恭子(非)

実務経験のある教員による講義

### 学年

1年、2年、3年、4年

### キャンパス区分

金谷川キャンパス

### 開講学期

後期

### 開講時期

(後期)

### 曜日・時限

木 1

講義室

講義室未設定

科目種別

通常講義(学類)

ナンバリング

g2710040

科目区分

日本事情

単位区分

選必自由

単位数

2

準備事項

備考

特修プログラム

直接参照URL

[https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC\\_06001B00\\_22/referenceDirect?subjectID=047440159719&formatCD=1](https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047440159719&formatCD=1)

## 教育目標との関係(DPポイント配分)

基盤教育	基盤教育	最新の専門知識及び技術	5	%
		本質を見極めるための教養と学際性	5	%

協働的な問題探究	30	%
社会の改善につなげる創造性	30	%
市民としての主体的態度	30	%

## 授業方法

講義、発表、ICT機器の活用

## 講義情報

### 授業概要とねらい

[授業のねらい]

- ・インタビュー調査をとおして、周囲をとりまく人々の価値観を認識し、理解につなげる。
- ・相手との関係性に応じた適切な表現で、伝えたいことを正確に伝えることができるようになる。
- ・調査活動を行い、その結果をスライド資料にまとめることができる。
- ・各自でナレーションを吹き込んだスライド資料の作成を課すことにより、実際のプレゼンテーションでの日本語の流暢さ等が向上するとともに、プレゼンテーション力が身に付く。

[授業の概要]

インタビュー調査の方法、まとめ方を習得した上で、各自インタビュー調査を行う。調査結果を発表し、学生間で相互評価をする。

### 単位認定基準

- インタビュー調査において、相手との関係性に応じた適切な表現で、伝えたいことを正確に伝えることができる。
- 調査活動を通して、周囲の人々への理解が深まる。
- インタビュー調査の結果をナレーション入りスライド資料としてまとめる。
- 実際の発表において、適切な表現を用い、伝えたいことを正確に伝えることができる。
- 発表内容に対し、意見を述べ合ったり評価したりすることができる。
- 授業中の発言、プレゼンテーション準備への取り組みから、積極的に授業に取り組む姿勢がみられる。

### 授業計画

1. イントロダクション
2. インタビュー調査を体験する① 「福大生の生活実態調査」質問紙の作成、インタビュー
3. インタビュー調査を体験する② 「福大生の生活実態調査」結果をプレゼン資料にまとめる
4. インタビュー調査を体験する③ 「福大生の生活実態調査」発表する
5. インタビュー調査の練習①-1 「災害対策」情報収集、質問紙の作成、インタビュー
6. インタビュー調査の練習①-2 「災害対策」結果をプレゼン資料にまとめる
7. インタビュー調査の練習①-3 「災害対策」発表する

8. インタビュー調査の練習②-1 「食生活」情報収集、質問紙の作成、インタビュー
9. インタビュー調査の練習②-2 「食生活」質問紙の作成
10. インタビュー調査の練習②-3 「食生活」発表する
11. インタビュー調査実施① 情報収集、テーマ決定
12. インタビュー調査実施② 質問紙の作成、インタビュー
13. 調査結果の発表準備
14. 調査結果の発表・評価
15. 全体まとめ

## 授業計画（週形式）

### 教材・教科書

授業で使用する教材・プリントは毎回配布する。

### 参考図書

授業中に指示する。

### 参考URL

授業中に指示する。

### 授業外の学修、及び必要な学修時間

プレゼンテーションのために、各自調査と資料準備をすること。

\* 単位制に基づき、少なくとも60時間の授業外学修時間を必要とする。

### 成績評価の方法

上記の単位認定基準(a)～(f)について、授業への参加態度（20%）、提出課題（20%）、平常のプレゼンテーション（20%）、期末試験（40%）より総合的に評価する。

## 成績評価の基準

- S：単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた（90～100点）
- A：単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた（80～89点）
- B：単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた（70～79点）
- C：単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた（60～69点）
- F：単位認定基準の学修成果をあげられなかった（～59点）

## オフィスアワー

月曜3限目（事前にメールで連絡すること）

## 授業改善・工夫

Google Classroomやアンケート作成&集計ツールを用いるなどして、学生に自律学習を促すとともに、授業を効率的に進める。

## 留意点・注意事項

本科目は留学生対象科目である。

## 教員の実務経験の有無